

はじめに

日本で日本人の両親のもとに生まれ育ったにもかかわらず、日本では常に違和感を覚えて生きていた私は、子どものころからマイペース、一人でいるのが好き、そのうえ型にはまるのが苦手。親にも「お変人さん」と呼ばれていました。

小学4年生のころから、映画やテレビで観るアメリカになんとなく憧れるようになり、高校卒業後は専門学校で英会話を学び、地元の在日米海軍基地に就職。

そして、偶然街で出会った米海軍兵との国際結婚というかたちで渡米を果たしたのは、昭和の終盤、22歳の夏でした。

翌年には早産で長女が生まれ、変わり者でも受け入れられる文化にはなじんだものの、除隊後、アルコールおよび薬物中毒が悪化していった夫との生活は決して楽ではありませんでした。

彼がある事件の容疑者として逮捕され、8年間服役することになったにもかかわらず、私は日本に戻りたいと思ったことは一度もなく、アメリカに帰化し、米海軍予備役に入隊しました。

1999年に離婚した際には、もう二度と結婚はしないと決めたものの、2年後には新天

地で知り合った海兵隊員と再婚することになり、2002年、2003年と続けて出産。

しかし結婚生活は長く続かず、2005年には私の意志で離婚を成立させました。そして、その元夫の再婚を機に、親権をめぐる争いが10年続きました。そんな道中、何人もの人たちから、私のさまざまな経験を書きつづって本にするべきだとすすめられました。

中学時代から自分の意思で日記を何年も書きつづけ、十数年前にはブログも始めた私にとって、書くのは苦手なことではありませんが、本を書くとなるとそれなりに時間も必要ですし、そのうち機会があつたら……と思いつつも実行するまでには至りませんでした。

ここにきてご縁があり、出版社からお声がかかったのを機に、ついに執筆することになりました。もしあなたが数ある本の中からこの本を手にとって読んでみようと思ったのなら、それもご縁だと思います。

この本には、私が今まで突き当たった壁をどうやって突破して、私なりに成功してきたかが書かれています。同じような問題を解決するためのアドバイスではありません。

ただ、どんなことがあっても乗り越えられるという希望と勇気をあなたに与えることができました。幸いだと思っています。